

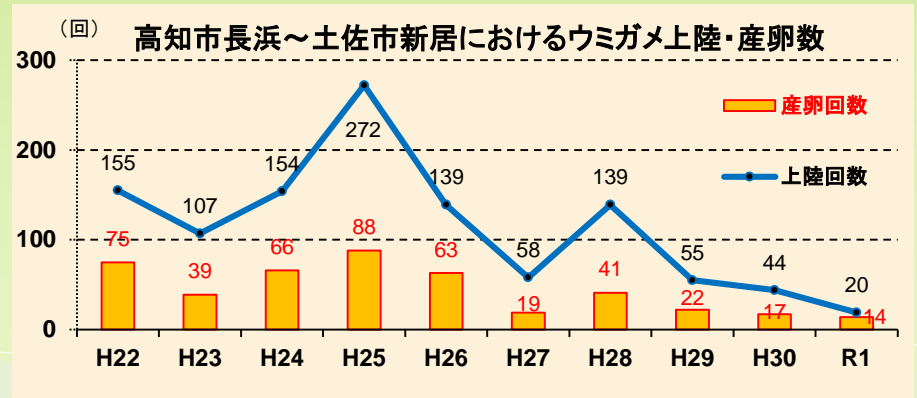
令和元年のウミガメ保護活動について

高知海岸におけるウミガメ保護活動

- 高知海岸(南国市十市～土佐市新居)では、5月から8月にかけてアカウミガメ（以下、ウミガメ）が上陸し、産卵します。
- また、高知海岸の高知市長浜から土佐市新居においては地域住民（春野の自然を守る会）や高知大学の海洋生物研究教育施設（海洋動物学研究室）が高知県から許可を受け、ウミガメの保護活動や研究に取り組んでいます。
- そのほか、高知市立春野東小学校、春野西小学校では毎年4年生の総合学習において、保護活動家の指導のもと、ウミガメの保護活動を行っています。

令和元年の実績（高知市長浜～土佐市新居）

- ウミガメの上陸回数は**20回**、産卵回数は**14回**でした。
- 採卵個数は**1,664個**で、ふ化して海へ帰った子ガメは**700匹**です。
ふ化率は**42.1%**となりました。



今年の保護活動を振り返って

車両進入防止対策（高知市仁ノ）5月～8月

- 車両の乗り入れによってウミガメの卵が潰れてしまわないように、仁ノ海岸に車両進入防止のロープを設置しました。
- 海岸を利用される皆様にはご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。



総合学習（春野東小、西小）4月～9月

- 6月に採卵保護した卵から8月には多くの子ガメが生まれ、海に帰っていきました。波で砂浜に戻されるたびに「がんばれ～」とみんなで応援しました。



採卵保護



大きくなって帰ってきてね

子ガメをお見送り

ウミガメ学習会（高知市戸原）9月

- ウミガメと触れ合い、生態を学ぶことで、海岸の環境に関心を深めてもらうことを目的に「ウミガメ学習会」を開催しています。
- 今年のウミガメ学習会は、パートナーシップ団体の方々と一緒に熊沢佳範さん、高知大学の齊藤知己准教授にご協力いただき、ウミガメについて教えていただいた後、子ガメを海へ帰しました。



ボランティア清掃活動 通年

- 高知海岸パートナーシップでは、各団体が年間3回程度、清掃を行っており、現在16団体が活動しています。
- 海岸の漂着ゴミは景観を損ねるばかりか、ウミガメの産卵の妨げにもなります。



長浜工区



新居工区



仁ノ工区



戸原工区